

知ってた?

# 日常点検って 実はとっても 簡単なんだよ



出発前の点検は、大切な人とのドライブの、最低限のエチケット。

●自動車の点検・整備のこと詳しくわかります。

点検整備

検索

[www.tenken-seibi.com](http://www.tenken-seibi.com)



2009自動車点検整備推進運動

推進:国土交通省 自動車点検整備推進協議会 後援:内閣府 警察庁 環境省 協力:自動車検査独立行政法人 軽自動車検査協会 独立行政法人自動車事故対策機構 (社)日本自動車整備振興会連合会 (社)日本自動車工業会 (社)日本自動車販売協会連合会 (社)日本中古自動車販売協会連合会 (社)全国軽自動車協会連合会 (社)日本自動車輸入組合 (社)日本自動車連盟 (社)全国自家用自動車協会 (社)日本バス協会 (社)全日本トラック協会 (社)全国乗用自動車連合会 (社)全国レンタカー協会 (社)日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 (財)自動車検査登録情報協会 (財)日本自動車教育振興財団 (社)日本損害保険協会 全国共済農業協同組合連合会 全国労働者共済生活協同組合連合会 (社)日本自動車部品工業会 (社)全国自動車部品商団体連合会 全国自動車電装品整備商工組合連合会 自動車用品小売業協会 (社)電池工業会 全国ディーゼルのポンプ振興会連合会 日本自動車車体整備協同組合連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 (社)日本自動車車体工業会 全国自動車部品販売店連合会 日本自動車部品協会 (願不同)

# 安心で快適なドライブは愛車へのいたわりから。 点検整備でクルマの健康管理。

日常点検や定期点検をきちんと行っていますか。

特に長くご使用のクルマは、細やかなケアが必要です。

日頃からきちんと点検を行って、運転中のトラブルを回避しましょう。

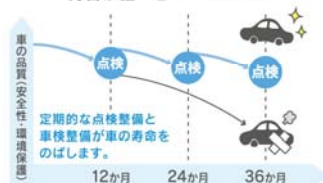
## 日常点検

日常点検は、日頃、自動車を使用している中で、走行距離や運行状態などから判断し、適切な時期に点検整備を行いましょう。

## 定期点検

定期点検は、安全の確保、公害防止の観点から、自家用乗用車は12か月および24か月ごとに実施しなければなりません。

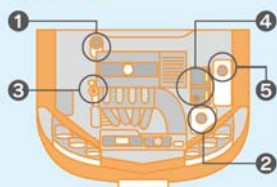
月日が経つと？(自家用乗用車)



## マイカーを点検しよう! 日常点検 15 項目チェックシート

判定 ○ or ×

### 日常点検 #01



エンジンルーム 5項目



#### 1 ブレーキ液の量

ブレーキ液のリザーバ・タンクを見て、液量が上限ラインと下限ラインの間にあるかどうかを点検します。液量が下限ラインより低い場合は、安易に補充せず、早急に整備のプロに相談しましょう。



#### 2 冷却水の量

冷却水のリザーバ・タンクを見て、液量が上限ラインと下限ラインの間にあるかどうかを点検します。この冷却水が下限ラインに近いが、それより少ない場合は、上限ラインまで冷却水を補充しましょう。



#### 3 エンジン・オイルの量

エンジンに付いているオイル・レベルゲージを抜きとり、付着しているオイルを拭きとってから、ゲージをいっぱいにし込み、再度抜きとってオイルの量を見ます。ゲージの先端についている2本のラインか、キザギザ部分の目印の中間にオイルがあれば合格です。ゲージの下限ラインよりもオイルが下側にあるときは補充しましょう。また、汚れている場合は交換しましょう。



#### 4 バッテリー液の量

バッテリーの液量が規定の範囲(上限と下限の間)にあるかを車両を揺らすなどで点検します。バッテリー液は腐食性が強いので、体、衣服、車体などに付着しないよう注意しましょう。



#### 5 ウィンド・ウォッシャー液の量

ウィンド・ウォッシャー液の量が適当かを点検します。液量が少ない場合は上限まで補給しましょう。

### 日常点検 #02



外回り 4項目



#### 6 ランプ類の点灯・点滅

クルマにはヘッド・ランプ、車幅灯、ストップ・ランプ、テール・ランプ、ウインカーなど、多くのランプが付いています。点灯・点滅の有無を確認し、レンズの汚れや損傷も調べましょう。点灯・点滅していない場合は、すみやかに交換しましょう。



#### 7 タイヤの亀裂・損傷の有無

タイヤの亀裂や損傷の有無を目や手で確認するとともに、タイヤに異物が付着していないかを入念に点検します。タイヤにかみ込んだ異物はきれいに取り除きましょう。また、タイヤが片減りしている場合は要注意。整備のプロに相談しましょう。



#### 8 タイヤの空気圧

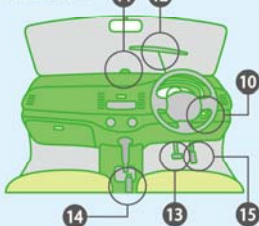
タイヤの接地部のたわみ具合を目で判断しましょう。接地部のたわみ具合で判断ができなければタイヤゲージを使って点検しましょう。タイヤの空気圧が不足している場合は、指定空気圧まで補充しましょう。



#### 9 タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さが浅くないかをタイヤの接地面のスリップ・サインを目印に、チェックします。スリップ・サインは溝の深さが1.6mm以下になると、現れます。溝の深さが足りないとは、スリップしやすくなり、雨天走行時ほどとも危険です。サインが現れたら、早急にタイヤを交換しましょう。※スリップ・サインは、タイヤ側面の三角マークのある位置の接地面に出現します。

### 日常点検 #03



運転席 6項目



#### 10 エンジンのかかり具合・異音

エンジンが速やかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。また、エンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。



#### 11 ウィンド・ウォッシャーの噴射状態

ウィンド・ウォッシャー液を噴射させ、ワイパの作動範囲に噴射されるかチェックします。また、その向きや高さが適当か点検します。



#### 12 ワイパの拭き取り能力

ワイパを作動させ、低速および高速の各作動が不良でないかを点検します。また、ウィンド・ウォッシャー液がきれいに拭き取れるかを点検します。ワイパの拭き取りは、ガラスを傷つけますので、ウィンド・ウォッシャー液を噴射してからワイパを作動させましょう。



#### 13 ブレーキの踏みしるるときき具合

エンジンをかけて異音がないかどうか確かめたら、ブレーキペダルを強く踏み込んだとき、床板との間(踏みしる)が適当かどうかを確認します。また、その踏みこたえがいつもと違うと感じたら要注意です。踏みこたえの違いの判断は、新車時や定期点検直後のブレーキペダルのフィーリングで判断するといでしょう。



#### 14 駐車ブレーキの引きしる(踏みしる)

駐車ブレーキをしっかりと引いた(踏んだ)ときに、引きしる(踏みしる)が多すぎたり、少なすぎたりしないかをチェックします。ブレーキペダルと同様に、新車時や定期点検直後の違いを比較してください。



#### 15 エンジンの低速・加速状態

エンジンを暖機させた状態で、アイドリング時の回転がスムーズに続くかを点検します。次に、エンジンを徐々に加速したとき、アクセルペダルに引っ掛かりがないか、スムーズに回転が上がるか、走行するなどして点検します。

※自家用乗用車の定期点検は、1年ごとに点検を行う項目が細かく決められており、整備のプロにまかせたほうが安心です。